

PCB(ポリ塩化ビフェニル)を一日も早く根絶するため、東京以西31都府県のPCB廃棄物を広域的に受け入れ、若松区響町にある処理施設(JESCOが運営)で処理しています。



© teitan & black-teitan, City of Kitakyushu
北九州市環境マスコットキャラクター
いたん&ブラックいたん

第50回北九州市PCB処理監視会議を開催

令和4年10月21日(金)に、「第50回北九州市PCB処理監視会議」を開催しました。監視会議委員17名のほか、JESCO、環境省、北九州市の北九州PCB処理事業に携わる関係者が参加し、傍聴はWeb上で行いました。

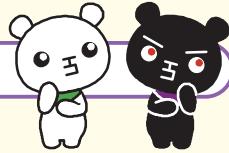


監視会議の様子



監視委員による視察の様子

1. 北九州PCB廃棄物処理施設の操業状況等について



- 本年6月1日の処理再開以降、トラブルなく順調に稼働しています。

1 PCB廃棄物処理の進捗状況

- JESCOから、安定器及び汚染物等の本年9月末時点の処理の進捗状況について、本年6月1日の処理再開後、順調に操業している旨の報告がありました。
- 本市及び環境省の職員が、毎月、北九州PCB処理施設への立入検査を行っており、操業に影響するトラブルは、一切発生していないことを確認しています。

| | 安定器 及び 汚染物等 | 処理重量① | 北九州 事業エリア | | 合計 |
|--|-------------------|---------|--------------|-------------|---------|
| | | | 豊田事業 エリア | 大阪事業 エリア | |
| | | 処理対象重量② | 3,646t | 2,446t | 3,498t |
| | | 3,671t | 2,798t | 3,928t | 10,397t |
| | | 処理率①/② | 99.3% | 87.4% | 89.1% |
| | | | | | 92.2% |

2 環境モニタリング結果

- 全ての測定項目において、環境基準等に適合していました。
- 北九州PCB廃棄物処理施設の周辺環境及び排出源の、令和3年度「冬季」及び令和4年度「春季・夏季」に実施した環境モニタリングは、全ての項目において環境基準等に適合していることを確認しています。

2. 安定器・汚染物等の処理計画について



- 環境省から、令和5年度末までの新たな処理計画が示されました。

- 処理計画量について、本年5月に開催した監視会議で示された見通しより171トン減となっています。これは、JESCOに登録されていた廃棄物を精査した結果、低濃度PCBや非PCB廃棄物のものがあったことによるものです。
- その結果、令和5年度第3四半期(令和5年11月末)には処理が完了する見込みとなっています。

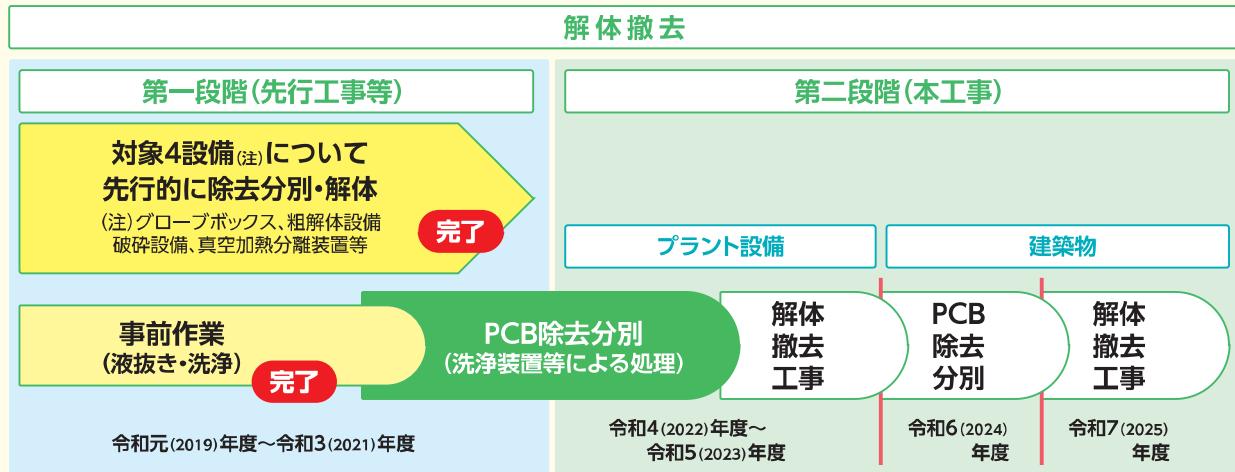
| 処理 対象物 | 処理計画量 | | | | | | | | 合計 | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|--|
| | 令和4年度 | | | | 令和5年度 | | | | | |
| | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | | |
| 安定器 | 95 t | 250 t | 175 t | 166 t | 160 t | 152 t | 74 t | 0 t | 1,072 t | |
| 汚染物等 | 11 t | 32 t | 26 t | 25 t | 12 t | 12 t | 6 t | 0 t | 124 t | |
| 全体 | 106 t | 282 t | 201 t | 191 t | 172 t | 164 t | 80 t | 0 t | 1,196 t | |

注) 令和4年度第1四半期及び第2四半期は実績値

3. 北九州PCB処理事業所第1期施設の解体撤去工事の状況等について

① 第1期施設の解体撤去の進め方等

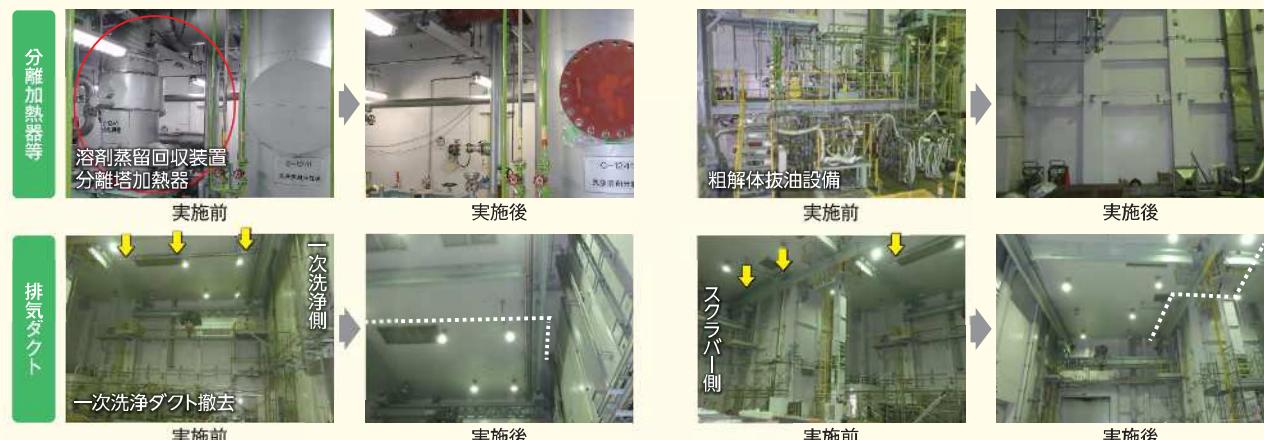
- 第一段階の先行工事が完了し、第二段階の本工事に移行しています。
- 第1期施設については、現在、プラント設備の解体撤去に向けて、PCB除去分別作業を実施しています（令和4年12月頃まで実施予定）。
- 作業環境及び排気測定においても、基準値以下となっており、安全かつ適正に管理されていることを確認しています。
- プラント設備解体撤去工事は、現場事務所設営等の共通仮設工事を行い、令和5年2月上旬頃に着手する計画です。



② 除去分別作業の状況

- 除去分別作業とは、設備・機器等に残存あるいは付着している高濃度PCBを洗浄装置、VTR装置やふき取りによって取り除く作業です。
- 事前作業等により高濃度PCBが確認された周辺設備（配管、ダクト、ポンプ）の一部は、先行して除去分別を実施しています。

■ 除去分別作業の実施状況



トピック



高校生を対象に北九州PCB処理事業所見学ツアーを実施

令和4年11月1日に福岡県立若松高校の生徒が、「若松学」の授業の一環として、北九州PCB処理事業所を訪問・見学しました。

「若松学」は、若松高校が、令和4年度で創立110周年を迎えるにあたり始めた「地域創生型学習」です。

生徒達は、PCB処理事業所を若松区に建設した経緯等に関する講義を受けた後、第1期施設の解体状況や第2期施設の施設内を見学しました。

生徒達からは、「PCBの処理について詳しく学ぶことができた」「北九州事業所が日本で初めてのPCB処理施設であることを知り興味深かった」「受入から様々な処理工程を経て、払い出されることを知り、処理することが大変だと実感した」「若松のことや日本の公害についても知ることができた」等の感想や意見をいただきました。



見学ツアーの様子

発行元

PCB News vol.49

環境局環境監視部環境監視課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 TEL: 093-582-2175 FAX: 093-582-2196

メールアドレス: kan-kanshi@city.kitakyushu.lg.jp

※ PCB処理の進捗など、地域の集会等に市の職員が出席して、説明を行います。

ご希望の方やPCB処理などについて感想やご意見がございましたら、上記までご連絡ください。

※ この事業について、詳しくは専用ホームページ(<http://www.waste-info.jppcb/>)で!!

